

岡山県生涯学習センターだより

No. 54

take
Free
2020

学びing



岡山県生涯学習センター



「一步踏み込み 挑戦する」

2日間の研修は、内容がギュッと詰まっていた大変でしたが心地よい充実感もありました。私は、いろいろ会議に参加させてもらうことがあるんですが、それをメモにとり記録することが好きなんです。研修会で学んだことを生かして、もっと図を増やしてみたりグラレコ（グラフィックレコーディング）を取り入れてみたりして自分なりに記録をとるようにすると、一緒に会議に出ている人のバックグラウンドが見えるようになってきました。すると、「この人にはこんな伝え方がいいのかな」とか、「これは言っちゃいけないかなと思っていたけれどちょっと表現を変えて伝えてみようかな」とか、一步踏み込んで発言をしてみる勇気をもつことができるようになった気がします。やってみようかな、どうしようかなと思っていたことを、一端アウトプットしようという挑戦する気

持ちになることができたと思っています。

私は子どもセンターの現状とか組織のあり方などをよりよくしていった方がいいと考えています。そのために、研修で習ったことを生かして、資料を工夫したり、企画をどう練ったらいのかという段取りをしたりして、情報を見える化していきたいです。そして、見える化した情報をもとに、今のメンバーでちょっと立ち止まって話をして、同じ目的に向かっていくんだっていうことを、顔を合わせて確認し共有する場をつくり、一つずつ成功体験を積んでいきたいと思っています。

NPO法人 岡山市子どもセンター

久川 春菜

内容の充実した研修に、子どもセンターから2人参加させてもらえて、とても良かったです。研修に参加した2人は、学んできたことを生かそうとしてくれています。ただ、子どもセンターの今後のあり方を考えていく人たちは、それぞ

れの考えがあります。子どもセンターも来年度（2020年度）設立20周年を迎えるので、目的やミッションなど、いろいろなことを再確認しているところです。2人の学んだことを生かして、子どもセンターに関わる人の考えを共有し、



「心のあり方が 自分を変える」

研修を受けて、ファシリテーションやコーディネーションする前に、心のあり方とか人を巻き込む力とか、熱意をもってやるというか、自分を整えることが大切なんだなという思いをもちました。自分の精神状態が不安定だったらやりたいこともできなさそうですごく思っています。プレーパークでは、遊びを中心に、いろんな人がつながったりいろんな人の居場所になったりしていけばいいなと思っているんですけど、そこにいるプレーリーダーの僕に遊び心がないと、来た人は安心できないなと思っています。プレーパークではもちろん遊ぶんですけど、最近、休みの日は、自分のやりたいことをやろうと思っています。釣りに行ったりキャンプに行ったり、いろんな人いろんな所に行っているんです。そうすると、「今、俺、むっちゃ楽しいこと考えているわ」っていうこれまでなかった発想が生

まれてくるようになりました。NPOにしていると気持ちが前に前に出て、これをやらなければならない、これが大切なんだという思いについついなくなってしまうがちなので、休みのんびりすることも必要なんだと思うようになりました。

今、おかやまプレーパークの組織は、今後続けていく上で、新しい人が入っていくことはとても大切だと思っています。そのために、組織を少しずつ変えていくことができればいいなと考えています。実は、研修から帰った翌日に組織をどうしていくのかということを考える会議があったんです。これまでの考えではダメだということになって、研修で学んだことを参考にしながら挑戦しているところです。

NPO法人 岡山市子どもセンター
おかやまプレーパーク プレーリーダー

久保田 将裕

当法人の5年、10年後を考えていく上での新たな課題を与えられたと感じています。

NPO法人 岡山市子どもセンター

代表理事 美咲 美佐子さん



Misako
Misaki



Shinichiro
Tsutaki

「生涯学習・学び・人との出会い」

改めて自分の人生をふり返ると、私の生涯学習は子どものころから自然と始まっていたんだと思うんです。

私は、山梨県の自然豊かな中山間地域（地区の人口が約1,000人）で生まれ育ちました。小・中学校へは徒歩で通学をしていたので、地域の方と挨拶を交わし会話することが多く、地域行事に参加する中で様々な世代の人たちと関わる機会に恵まれていたと思います。大学生の頃、過疎化により母校が廃校となることになりました。その出来事をきっかけに、農山村の活性化について大学院で学びながら、地元の公民館長と一緒に地域を元気にするための活動を行いました。その思いが、西栗倉村で暮らすことになったことにつながっているのだと思います。

その後、「持続可能な社会を実現する」をミッシ

ンに掲げ、環境事業や地域活性化に取り組む会社へ就職しました。見知らぬ土地に配属となり、戸惑うことばかりでしたが、生涯学習によるまちづくりをしているNPO団体と関わることができました。そこで学び合うことの楽しさや、学びを通して人と人が出会い、まちを好きになる人が増えていくことを実感しました。

西栗倉村に移住した後に、公民館長兼図書館長の公募を見て、これまでの生涯学習活動の経験を生かせるのではないかと、一昨年(2018年)10月から今の仕事に就きました。本年4月5日には、公民館と図書館機能を併せ持った生涯学習施設「あわくら会館(以下、会館)」がオープンします。新たな施設を立ち上げることに携わることは、なかなか経験できることではないと思い、日々開館に向けて取り組んでいます。

葛木さんが中心となり進めてくれているワークショップや「カフェ&トーク」をきっかけに、人が集まる場が増え、新たなつながりも生まれ、“人が動き出した”という印象があります。

1月に開催した「ボードゲーム」の会もそのひとつで、多世代の人たちが集まりゲームに熱中している様子がそのことを表していると思います。

新しい図書館でも、引き続き私のライフワークのひとつでもある読み聞かせを中心に関わっていきたいと思っています。

西栗倉村民 栗屋さん



Awaaya

現在は、村民の声を聞きながら、学びたいことや活動へのニーズを把握し、村民のやりたいことを支援できる運営体制づくりを進めています。初めて経験することが多く悩むこともあります。そんな時に思い出すのが、「宿泊研修」で紹介された「心の持ち方(マインドセット)」です。今、館長として仕事をさせていただけるのも、これまでの人との出会いやご縁によるものだと思っています。人との出会いが様々な出来事をもたらし、新たな機会を与えてくれると思い、仕事に臨んでいます。

村内に高校がなく、中学卒業後ほとんどの子どもたちが村外へ出て行ってしまいます。現在、「あわくらアカデミー」というプロジェクトにおいて、中学生が村に暮らす人を知り、自分たちのやりたいことをカタチにするためのチャレンジをしています。その中で、中学生が実行委員会を組織して、村に暮

らす大人と対話する「だっぴ」を実施しました。実施にあたり、「社会教育実践専門講座」で学んだ「ライフキャリア教育 若者×地域」において、「だっぴ」を実際に見学できたことは本当に良かったです。今後は、新施設のオープンに関連したイベントで、中学生が企画・実施する映画祭が開催される予定になっています。

会館のビジョンである「あつまる、つながる、やってみる」の実現に向け、地域の情報拠点、学び・活動・交流の拠点として、学びや活動を通じた仲間づくりができ、村民の誰もが楽しみや生きがいを持ち、笑顔で暮らせる村をつくっていきたいと思っています。

西栗倉村教育委員会 あわくら会館・あわくら図書館
館長 葛木 伸一郎



Atsushi Tokuda

とくさんへ

「つながる」事業で精思高校に来てくださりありがとうございました。とくさんのお話は分かりやすく、とても役に立ち、楽しい時間を過ごすことができました。

過去に色々なことに挑戦して、現在はカフェの店長を務めていることがすごいなと思いました。

私は、今、将来の夢が見つかっていません。しかし、夢を見つけて、困難があっても諦めずに挑戦したい、夢を叶えたい考えるようになりました。

また、こういう機会があればいいと思っています。

倉敷市立精思高等学校 第1学年 右近 沙如さん

Sayuki Ukon



Takamasa Fujii

「きっかけをつくれる 人でありたい」

ボランティアに価値を見い出してがんばっているアルバイトの大学生と話をしていて、地域貢献しながら自分が学ぶという感覚を大人も持つべきなんじゃないかなって思ったんです。「やらなあかん、やりたいな、自分だったら何ができるかな」と思っていて、高校生と関わるボランティアにたどり着いたんです。自分のなかでの大きな出会いでした。

私の勤務している会社の中には「お互いを認め合う」という文化があって、これを社会に広げていきたいと思っていました。自分の強みと、もともとは先生になりたかったという想いを生かして個人ではどうしたらいいのかって考えていました。一方で、会社の中でできることは増えていっているけど、社外で一人でできることはあるのかと不安にも思っていました。

高校時代は価値観とか視野って広がりにくいと思う

から、自分の知っている世界がすべてだと思い込むところを、自分が視野を広げるきっかけになれたらいいなと思っています。自分自身、高校時代にそんな場があったらよかったなと思っているので。

ボランティアをやって、高校生に「失敗してもいいんだ」「大人って全部うまくやってきた人たちだと思っているかもしれないけど、大人も結構失敗してるよ、今も実際に悩んでるよ。」という話をすると、それって普通なんだ、自分だけじゃないんだと気付いてくれたようでした。周りと同じでないことに引け目を感じているかもしれないけど、全然いいよ、その中で自分のやりたいことや好きなことを見つけてやればいいんじゃないの？ということが伝わっていたらいいなと思っています。今は自分の頭だけで考えて「やめとこ」と思っていることは多いと思います。そこで誰かに背中を押してもらって、

「やってみてもいいかな」って、「失敗してもそこで考えればいい」と思ってもらえたらいいと思います。ほんとに好きなこと、やってみたいことを自分で選べるようにしておかないと結局どこかでつまずくし、遅くなるほど修正がきかなくなるじゃないですか。

自分は何を生み出せるのか、自分自身と向き合って自己理解を深めたかったのが高校生と話すごことで自己分析ができました。こういう活動をライフワークにできたらいいと思っています。高校生の自分へのリアクションを見て、地域に対してできることはあるんだと自信につながりました。

これからも、人が変わるきっかけをつくれる人でありたいと思っています。

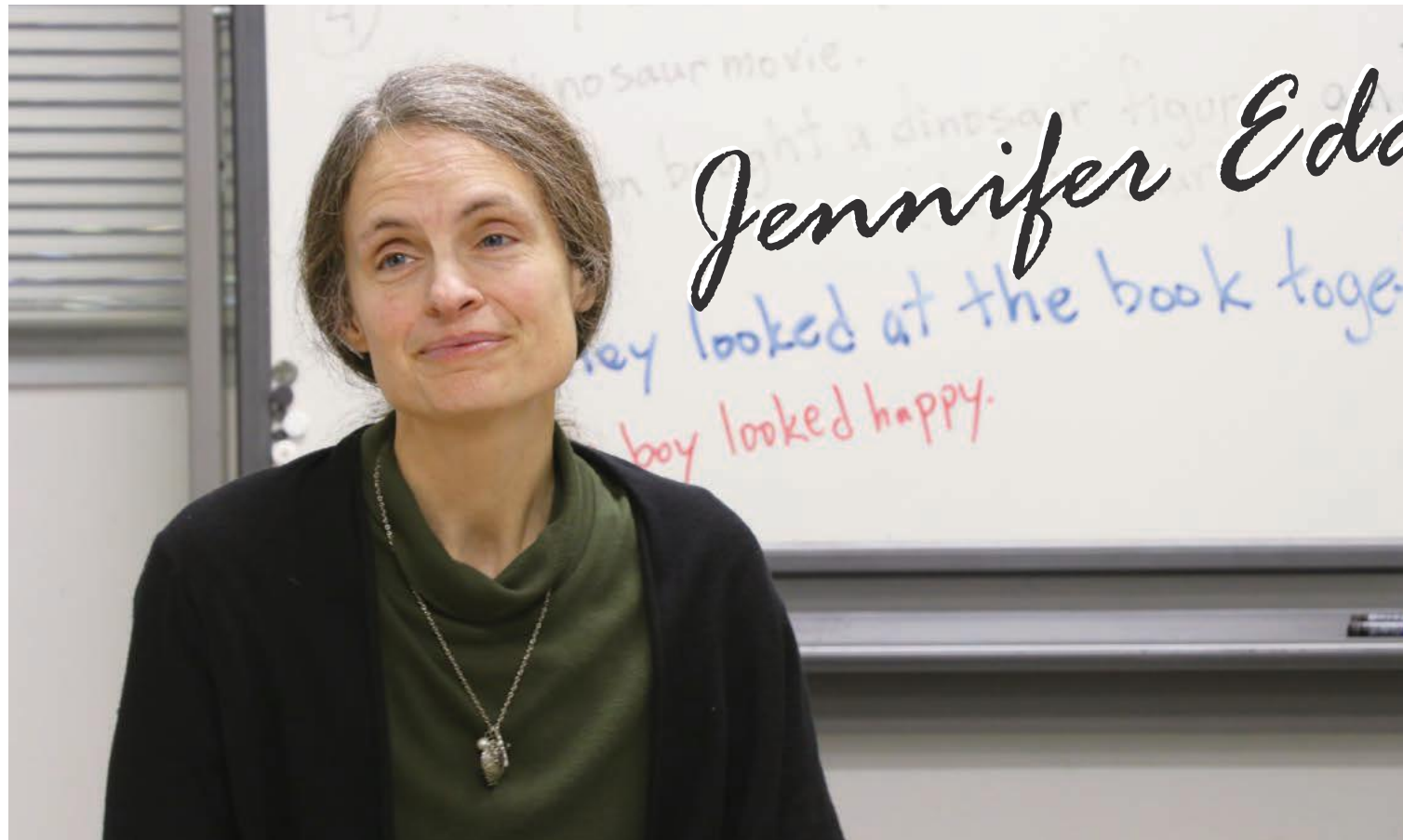
カフェ店長 徳田 敦之

担当学年で若者と「つながる」事業を実施できて本当に良かったです。計4回でしたが回を重ねるごとに生徒の表情、姿勢が変わっていきました。正直、実施前は自分自身やコミュニケーションに自信を持てない生徒が多く、ボランティアの方々とどこまで関係性を築けるかが不安でした。しかし、生徒一人ひとりに対して決して否定せず、個性を見つめながら関心を持って接して下さる中で、生徒は少しずつ心を開いていきました。一番の感動は「現在と過去の自分を話す」プログラムのとき。過去の辛かった経験やそれをどう克服していったかなど、赤裸々に語られる話。生徒が息を呑みながら、前のめりになって真剣に聴く姿は忘れられません。

アンケートでは、若者と「つながる」事業を経験して、元気がもらえた、前向きになれた、人との関わりに少し自信が持てるようになったと答えています。今後も可能な限り、ボランティアの方々と交流は続けていきたいと考えています。

倉敷市立精思高等学校 第1学年主任

藤井 孝正先生



Jennifer Eda

Tomohiro
Eda



英会話サークル・尺八・サイピア宇宙塾に限らず、多方面にわたって活動している妻は、とても充実した日々を送っているようです。家でも活動の様子についてよく話をしてくれます。妻が学びたいという気持ちを、私もできるだけバックアップできたらと思って生活しています。

子育てについても、我が子にできるだけ多くのことを経験させて、本当に自分のやりたいことを見つけてもらいたいという思いで、ふたりで楽しんでやっています。特に、太陽の丘公園は私にとって、幼少の頃両親に連れられて遊んだ懐かしい場所でもあります。妻や私にとっても我が子にとってもいろいろな学びや遊びを提供してくれる生涯学習センターには、今後も足を運びたいと思っています。

夫 江田 知広さん

「何事においても『経験すること』が大切！」

日本に来て20年が経ちました。教えることが好きな私は、外国語指導助手（ALT）として働くことを希望し、日本に来ました。英語を通じて、いろんな人と出会うこと、一緒に時間を過ごすことは、私の喜びです。ある大学の市民公開講座で英会話教室の講師をしていましたが、その教室に通ってくださっていた女性メンバーが「ジェニファーさんといっしょに英会話がしたい」と言ってくれて、月に2回、その方々と英会話サークルを開いています。市民公開講座が終わって10年近くたった今でもずっと続いており、お互い会うのが楽しみになっています。そのとき利用するのが生涯学習センター。駐車場もあるし、立地もいいので、とても利用しやすい施設ですよ。

小さい頃からフルートを習っていた私は、日本のフルート=尺八にとっても興味がありました。このことも、

日本に行きたいと思った理由のひとつでした。日本に来てすぐに、尺八を習い始めましたが、日本語に慣れない最初はとても苦労しました。でも、続けてきたおかげで今は師範の腕前になりました。岡山城でも演奏しましたよ！外国の人に教えられたらいいなと思っています。

日本で結婚し、二児の子に恵まれました。子どもと一緒に遊ぶ場所として、夫から太陽の丘公園の存在を聞いて訪れたら、英会話教室を行う生涯学習センター内にあったのでビックリ！恐竜のすべり台は我が子のお気に入りです。以来、家族でよく利用しています。お子さん連れの方にはオススメです！

太陽の丘公園もですが、サイピアに行くことが多くなりました。なぜなら、大学で科学を専攻していたから。ドラム缶がつぶれる実験を見たり、ものづくり

のイベントに参加したりするのを子どもたちは喜んでます。そんな中、サイピアにあったチラシで「サイピア宇宙塾」のことを知りました。

この講座は、天体望遠鏡の操作方法が学べるということで受講しました。家にある天体望遠鏡を上手に操作したくて…。講座では、知識の部分はもちろん、実際に天体を観ることができ、とても興味深かったです。科学の専攻や英会話教室、尺八での学び等をとおして思うのは、「何事も経験することが大切である」ということ。私にとって学ぶとは経験すること。これからも自分の好きなことは、続けてやっていきたいです。

「経験する」ことはなるべく小さいころからがよいと考え、我が子にはいろんなことをさせています。生涯学習センター主催の「宇宙の学校」は、小学1年生

の息子に受けてもらいたいと思い、いっしょに参加しています。宇宙の不思議さやワクワク感を、経験をとおして学べる場所は、そばで見守る私たちにも楽しいものです。余談ですが、そういう思いで、夫と私は家庭内ではオールイングリッシュで子育てをしています。

我が子にも、できるだけ多くのことを経験し、その中から自分の好きなことや興味のあることを見つけ出し、それを伸ばしていってほしいと思います。その先には、きっと楽しい人生が待っていると思います。今は子育てに奮闘中ですが、将来は私の好きな科学や音楽の楽しさを多くの人に伝えられたらと思っています。

主婦 江田 ジェニファー



Ayaka
Ueda

今回のインタビューを聞いていて、「あみさんって、こんなに色んなこと考えながら、活動してたんだな。」ってすごく驚きました。

普段一緒に活動をしていて、あみさんからは、たくさんのことを学ばせてもらっています。例えば、人との接し方とか距離感とか。一見クールに見えて、人とかかわりがとても上手なんですよ。

それに、普通なら面倒だと思えることでも「楽しい」と思えるところはすごく尊敬してます！私も見習いたくなって。

岡山大学法学部 3回生 上田 彩夏さん

「自分の自由な思いを形にできる場」

私は、「異年齢(小学生から大学生まで)での交流」「学校ではできないことができる場」をコンセプトに、大学生の仲間たちと一緒に「みんなのひみつ基地」を企画・運営しています。

私が小さい頃は、こんな場所とか、機会がなかったの、今の子どもたちが本当にうらやましいです。親でも先生でもない、ちょっと上のお姉さんとかにいろいろ教えてもらったり、お話聞いてもらったりできるって素敵じゃないですか。それに、ここだと違う学校の人とも友達になれるんですよ。小さい頃からいろいろな人とかわることができると世界が広がりますよね。

ボランティアとして、企画・運営している側の私にとっては、ひみつ基地での活動の一番の魅力って、「何でもやりたいことができる」ってとこなんですよ。

私は小さい時、「これやりたい」って親に言ってもあまり賛成してもらえなかったから、「自分たちで考えて自由にできる」ってことに憧れてるんですかね。

私は、立ち上げの時からメンバーなので、本当にゼロから、全てを考えることができました。この活動を立ち上げる時「ひみつ基地」では何を大事にしていくのかをみんなで付せん書きしながら話し合っていたんですけど、今思えば、それが一番勉強になったかなって思います。企画についてみんなで話し合う時、いろんな案が出てどうしようってなることがあるんですけど、そのとき、私たちのしたいことって何だったかって、原点に戻って考えることができるんですよ。原点に戻って考えるって、これから何をするのも大事なことなんじゃないかなって思うんです。

前から思ってたんですけど、この活動って、ボランティアなんですかね?「ボランティア」やってるって人に言うと、「すごいねー」とか言われるんですけど、私の中では、そんな感覚全然なくて、「楽しいからやってる」って感じなんです。実際、予定を手帳に書く時に、勉強のことは「黒」、遊びのことは「ピンク」、バイトは…って色分けしてるんですけど、ひみつ基地の活動は、「ピンク」で書いてるんです。「遊び」の一部っていうか、延長というか(笑)。本当にただただ楽しいんですよ。子どもたちに声をかけるときも、自由に創造力が膨らむように、「いいね!おもしろそう!」って盛り上げるんですよ。そしたら、この子が将来すごいこと考えるようになるかもしれないって心の中で、一人でウキウキしてるんですよ(笑)。だっ

て、子どもたちが、将来、あの時、あそこで、こんなことしたなあってワクワクしてくれたら、おもしろくないですか(笑)。

岡山大学経済学部 4回生 長野 亜実



岡山県生涯学習センターは、これからも人づくりと持続可能な地域づくり、つながりづくりを大切に、皆様の学びを応援していきます。

[illegible]

〒700-0016 岡山市北区伊島町三丁目1番1号
<http://www.pal.pref.okayama.jp/>
<https://www.facebook.com/okasyogaise/>
 総合案内(施設・視覚教材等予約)
 ☎ 086-251-9788 fax 086-251-9781
 総務課 ☎ 086-251-9750 fax 086-251-9757
 振興課 ☎ 086-251-9751
 学習相談 ☎ 086-251-9758
 人と科学の未来館サビバ
 ☎ 086-251-9752 fax 086-251-9780
 開所時間 火曜日～土曜日:午前9時から午後9時まで
 日曜日・祝日:午前9時から午後5時まで
 休所日 月曜日(その日が祝日に当たるときを除く。)
 祝日の翌日(その日が祝日でない火曜日から金曜日)
 12月28日から翌年の1月4日まで

